



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月28日

上場会社名 株式会社マクニカ 上場取引所 東
 コード番号 7631 URL <http://www.macnica.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 潔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐野 繁行 (TEL) 045-470-9870
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	124,525	23.3	4,162	29.3	5,586	70.4	3,743	76.9
25年3月期第2四半期	101,014	3.9	3,220	△16.7	3,278	0.8	2,116	35.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 5,093百万円(243.2%) 25年3月期第2四半期 1,484百万円(209.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	211.46	210.91
25年3月期第2四半期	119.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	131,891	71,821	53.4
25年3月期	115,315	67,186	57.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 70,409百万円 25年3月期 65,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	30.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	224,100	14.1	7,630	32.8	8,600	51.2	5,550	65.7	313.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期2Q	18,110,252株	25年3月期	18,110,252株
26年3月期2Q	407,402株	25年3月期	407,215株
26年3月期2Q	17,702,952株	25年3月期2Q	17,703,289株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安効果の強まりや海外経済の持ち直しを背景に米国向けを中心とした輸出が堅調に推移しました。輸出環境の改善に加えて、公共投資の増加など内需が好調なことから製造業を中心とした生産活動も回復傾向となりました。また、円安による収益拡大期待の強まりや景気回復に伴い企業の投資マインドが持ち直していることから設備投資も改善基調となりました。個人消費に関しましては、株高による資産効果などにより消費マインドが改善され堅調に推移しました。

当社の属するエレクトロニクス産業におきましては、引き続きスマートフォンが拡大しました。一方で、コンピュータ市場は、企業向けPCの買い替え需要が顕在化したものの、タブレットPCを始めとするモバイル端末の台頭により従来型PCの需要は依然厳しい状況が続きました。民生機器市場は、コンパクト・デジタル・スチル・カメラや薄型テレビが需要の減少による生産調整の影響を受けたことから、低調に推移しました。車載市場は、景気回復を受け北米を中心に堅調に推移しました。産業機器市場は、輸出環境の改善、生産活動の持ち直しなどを受けて回復傾向となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は124,525百万円（前年同四半期比23.3%増）、営業利益は4,162百万円（前年同四半期比29.3%増）、また為替差益1,475百万円を計上したことから、経常利益は5,586百万円（前年同四半期比70.4%増）、四半期純利益は3,743百万円（前年同四半期比76.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(集積回路及び電子デバイスその他事業)

当事業におきましては、スマートフォンの需要拡大により、同端末向けASSPが引き続き好調に推移し、また、それに伴った設備増強によりLTE基地局や通信設備、北米における伝送装置の需要回復などから、通信インフラ市場向けPLDやASSPは好調に推移しました。コンピュータ市場は、液晶パネル向けなどの既存ビジネスの終息、PC需要の減少などにより低調に推移しました。民生機器市場は、デジタル・スチル・カメラや薄型テレビが一部生産調整による影響を受けたものの、商権の拡大に伴い全体としては堅調に推移しました。車載市場は、良好な需要環境に加え、新規ビジネスの立ち上がりなどによりアナログICなどが順調に拡大しました。産業機器市場は、PLD、アナログICなどが総じて好調に推移しました。これらの結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は115,822百万円（前年同四半期比24.7%増）、営業利益は3,173百万円（前年同四半期比54.6%増）となりました。

(ネットワーク事業)

当事業におきましては、スマートフォン拡大による通信設備向け通信機器の需要が一巡したものの、新規モデルの立ち上がりや特需を背景に持ち直し傾向となりました。また、官公庁や情報通信関連企業向けのネットワーク機器やセキュリティ関連機器が伸長しました。標的型攻撃対策を始めとしたセキュリティ関連機器や企業向けセキュリティソフトウェアなども好調に推移しました。これらの結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は8,708百万円（前年同四半期比7.0%増）、営業利益は1,061百万円（前年同四半期比13.8%減）となりました。

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は131,891百万円となり、前連結会計年度末に比べて16,576百万円増加いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ16,474百万円増加となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が9,440百万円、商品が8,346百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ101百万円増加となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ13,731百万円増加となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が6,919百万円、短期借入金が3,000百万円、その他の流動負債が2,594百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,790百万円減少となりました。この主な要因は、長期借入金が1,942百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,634百万円増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が3,327百万円、為替換算調整勘定が783百万円増加したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末の17,089百万円に比べ2,642百万円減少し、また新規連結に伴う増加額1百万円を加えることにより、14,447百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは2,825百万円の減少（前年同四半期は8,005百万円の減少）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益5,722百万円及び仕入債務の増加等の増加要因があったものの、売上債権及びたな卸資産の増加等の減少要因があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは567百万円の減少（前年同四半期は570百万円の減少）となりました。これは、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは581百万円の増加（前年同四半期は1,534百万円の減少）となりました。これは、長期借入金の返済による支出等の減少要因があったものの、短期借入金の増加等の増加要因があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年7月25日発表の通期の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,088	14,447
受取手形及び売掛金	37,904	47,344
商品	37,686	46,033
その他	8,521	9,844
貸倒引当金	△118	△112
流動資産合計	101,083	117,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,536	2,558
機械装置及び運搬具(純額)	17	15
土地	3,557	3,558
その他(純額)	1,385	1,402
有形固定資産合計	7,497	7,535
無形固定資産		
のれん	1,312	1,197
その他	863	831
無形固定資産合計	2,175	2,029
投資その他の資産		
投資有価証券	2,670	2,793
その他	1,965	2,060
貸倒引当金	△77	△85
投資その他の資産合計	4,559	4,769
固定資産合計	14,232	14,333
資産合計	115,315	131,891
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,185	28,105
短期借入金	4,500	7,500
未払法人税等	1,129	1,800
賞与引当金	1,181	1,728
その他	9,568	12,162
流動負債合計	37,565	51,296
固定負債		
長期借入金	6,418	4,475
退職給付引当金	3,022	3,148
役員退職慰労引当金	440	449
その他	683	700
固定負債合計	10,563	8,773
負債合計	48,129	60,070

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,194	11,194
資本剰余金	19,476	19,476
利益剰余金	35,765	39,092
自己株式	△1,090	△1,090
株主資本合計	65,346	68,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192	251
繰延ヘッジ損益	△622	△202
為替換算調整勘定	903	1,686
その他の包括利益累計額合計	473	1,736
新株予約権	92	92
少数株主持分	1,274	1,319
純資産合計	67,186	71,821
負債純資産合計	115,315	131,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	101,014	124,525
売上原価	86,963	107,922
売上総利益	14,050	16,602
販売費及び一般管理費	10,830	12,439
営業利益	3,220	4,162
営業外収益		
受取利息	16	28
為替差益	117	1,475
その他	84	89
営業外収益合計	219	1,593
営業外費用		
支払利息	35	47
債権譲渡損	93	82
その他	31	39
営業外費用合計	160	169
経常利益	3,278	5,586
特別利益		
固定資産売却益	—	5
投資有価証券売却益	737	135
特別利益合計	737	140
特別損失		
固定資産除却損	7	5
関係会社株式評価損	16	—
関係会社株式売却損	41	—
関係会社出資金評価損	296	—
その他	7	—
特別損失合計	368	5
税金等調整前四半期純利益	3,647	5,722
法人税、住民税及び事業税	1,495	1,955
法人税等合計	1,495	1,955
少数株主損益調整前四半期純利益	2,151	3,766
少数株主利益	35	22
四半期純利益	2,116	3,743

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,151	3,766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△277	58
繰延ヘッジ損益	397	420
為替換算調整勘定	△788	847
その他の包括利益合計	△667	1,327
四半期包括利益	1,484	5,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,508	5,006
少数株主に係る四半期包括利益	△24	87

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,647	5,722
減価償却費	590	514
受取利息及び受取配当金	△16	△35
支払利息	35	47
売上債権の増減額 (△は増加)	801	△8,938
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,666	△7,535
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,570	5,870
その他	△2,566	2,834
小計	△6,743	△1,520
利息及び配当金の受取額	15	13
利息の支払額	△36	△43
法人税等の支払額	△1,241	△1,275
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,005	△2,825
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△123	—
有価証券の売却による収入	456	—
貸付けによる支出	△1,538	△3,597
貸付金の回収による収入	1,307	3,521
有形固定資産の取得による支出	△396	△319
無形固定資産の取得による支出	△85	△218
投資有価証券の取得による支出	—	△19
投資有価証券の売却による収入	17	19
関係会社株式の取得による支出	△204	△0
その他	△3	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△570	△567
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	2,500
長期借入金の返済による支出	—	△1,500
配当金の支払額	△354	△354
少数株主への配当金の支払額	△33	△42
その他	△146	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,534	581
現金及び現金同等物に係る換算差額	△328	168
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,438	△2,642
現金及び現金同等物の期首残高	24,222	17,089
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,783	14,447

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	集積回路及び電子デバイスその他事業	ネットワーク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	92,878	8,135	101,014	—	101,014
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	6	6	—	6
計	92,878	8,142	101,020	—	101,020
セグメント利益	2,052	1,230	3,283	—	3,283

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	集積回路及び電子デバイスその他事業	ネットワーク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	115,822	8,702	124,525	—	124,525
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	6	6	—	6
計	115,822	8,708	124,531	—	124,531
セグメント利益	3,173	1,061	4,234	—	4,234

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,283
セグメント間取引消去	91
全社費用(注)	△154
四半期連結損益計算書の営業利益	3,220

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,234
セグメント間取引消去	98
全社費用(注)	△169
四半期連結損益計算書の営業利益	4,162

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。